



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名)戸田 慎也 (TEL)026(227)1301  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,999	—	384	—	381	—	211	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 201百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.59	35.44
2022年3月期第2四半期	—	—

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,225	3,239	26.5
2022年3月期	12,089	3,090	25.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,239百万円 2022年3月期 3,090百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50
2023年3月期	—	8.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,895	14.5	591	115.5	583	104.9	308	139.3	51.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	6,080,130株	2022年3月期	6,080,130株
2023年3月期2Q	123,550株	2022年3月期	127,600株
2023年3月期2Q	5,951,930株	2022年3月期2Q	5,871,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの新規感染者数が2022年7月から急激に増加し、1日の新規感染者数が過去最高を更新するなど、未だ先行きの見えない状態が続いております。また、アメリカの金融政策等による過度な円安や、世界的な物価高による仕入コストの上昇により、収益圧迫の長期化が懸念されております。

このような状況の中ではありますが、当社グループのアミューズメント施設は、依然として景品ゲームが大変盛況であり、全体の売上高を牽引しております。引き続き景品ゲーム機の増台や、各種キャンペーンによるお客様満足度の向上に注力して参ります。またメダルゲームやアーケードゲームにおきましても、前年同時期と比較してご遊戯されるお客様が増えており、アミューズメント施設全体に活気が戻っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,999,651千円、営業利益は384,462千円、経常利益は381,175千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は211,844千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、景品ゲームの売上が堅調に推移しており、既存店においても順次景品ゲーム機の増台を進めております。中でもアピナ姫路店では、2022年8月に営業エリアを拡大して景品ゲーム機を200台以上増台し、連日多くのお客様にお楽しみいただいております。また、映画やSNS発の人気キャラクターとコラボレーションしたオリジナルグッズのプレゼントキャンペーン等を実施し、販促活動にも力を入れております。さらに、QRコード決済端末の設置による利便性向上にも、継続して取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間では、愛知県で2店舗目となる「アピナ蒲郡店」を新規出店しました。2021年12月に出店したアピナ豊橋店に引き続き、愛知県におけるアピナブランドの知名度向上につなげて参ります。なお、第2四半期連結会計期間末での総店舗数は57店舗となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は5,721,904千円、セグメント利益(営業利益)は646,153千円となりました。

#### ② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、景品ゲームの人気に伴い、多岐にわたるジャンルの景品販売及び景品ゲーム機を中心としたアミューズメント機器の販売が非常に好調となっております。また、スクイーズを使用したオリジナル景品の販売も強化しており、今後も販路拡大に向けた取組みを継続して参ります。

以上の結果、売上高は144,863千円、セグメント利益(営業利益)は90,058千円となりました。

#### ③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、当社が所有する不動産の賃貸業、並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売であります。ブルームの商品販売につきましては、2022年7月に埼玉県ふじみ野市にある商業施設にポップアップ・ストアを出店いたしました。今後もポップアップ・ストアの出店を通して、スクイーズの魅力を全国に広めて参ります。このほか、スクイーズを使用したアミューズメント専用景品の開発・販売にも注力しており、販路拡大を進めて参ります。

以上の結果、売上高は132,882千円、セグメント損失(営業損失)は40,717千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して135,949千円増加し、12,225,091千円となりました。この要因は、アミューズメント機器(純額)が360,818千円、敷金及び保証金が52,847千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して13,119千円減少し、8,985,283千円となりました。この要因は、1年内返済予定の長期借入金が209,885千円増加したこと、長期借入金655,682千円、未払金が369,800千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して149,068千円増加し、3,239,808千円となりました。この要因は、利益剰余金が158,271千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,197,215千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は1,585,890千円となりました。これは、減価償却費664,391千円、棚卸資産の増加47,636千円、仕入債務の増加396,155千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,357,877千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,329,057千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は501,627千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出745,797千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に開示いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年11月14日開示の「2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,896,137	4,083,515
受取手形、売掛金及び契約資産	477,667	501,025
有価証券	200,000	200,000
商品	116,899	147,866
貯蔵品	186,580	203,249
その他	320,001	805,676
流動資産合計	6,197,286	5,941,333
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器 (純額)	1,848,602	2,209,420
建物及び構築物 (純額)	1,243,089	1,253,928
工具、器具及び備品 (純額)	187,753	191,758
土地	857,977	857,977
その他 (純額)	30,171	30,521
有形固定資産合計	4,167,594	4,543,606
無形固定資産		
その他	48,601	44,338
無形固定資産合計	48,601	44,338
投資その他の資産		
投資有価証券	154,325	139,003
繰延税金資産	46,781	56,744
敷金及び保証金	1,260,362	1,313,210
その他	229,592	202,257
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	1,675,660	1,695,814
固定資産合計	5,891,856	6,283,758
資産合計	12,089,142	12,225,091

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	918,025	1,009,621
1年内返済予定の長期借入金	1,406,795	1,616,680
未払金	917,172	547,372
未払法人税等	82,697	183,567
賞与引当金	64,540	79,965
資産除去債務	26,848	28,172
その他	245,119	819,506
流動負債合計	3,661,199	4,284,886
固定負債		
長期借入金	4,821,300	4,165,618
資産除去債務	513,207	532,082
その他	2,696	2,696
固定負債合計	5,337,203	4,700,396
負債合計	8,998,402	8,985,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	505,621	504,832
利益剰余金	1,863,682	2,021,953
自己株式	△48,125	△45,884
株主資本合計	3,030,887	3,190,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,852	49,197
その他の包括利益累計額合計	59,852	49,197
純資産合計	3,090,739	3,239,808
負債純資産合計	12,089,142	12,225,091

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,999,651
売上原価	2,640,497
売上総利益	3,359,153
販売費及び一般管理費	2,974,691
営業利益	384,462
営業外収益	
受取利息	612
受取配当金	1,763
太陽光売電収入	3,433
その他	6,408
営業外収益合計	12,217
営業外費用	
支払利息	13,856
その他	1,648
営業外費用合計	15,505
経常利益	381,175
特別損失	
出資金評価損	18,784
特別損失合計	18,784
税金等調整前四半期純利益	362,390
法人税、住民税及び事業税	155,842
法人税等調整額	△5,296
法人税等合計	150,546
四半期純利益	211,844
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,844



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	211,844
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△10,655
その他の包括利益合計	△10,655
四半期包括利益	201,189
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	201,189
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2022年4月1日  
至 2022年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	362,390
減価償却費	664,391
受取利息及び受取配当金	△2,375
支払利息	13,856
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,357
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△47,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	396,155
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,425
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,784
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43,513
その他	215,085
小計	1,656,232
利息及び配当金の受取額	1,796
利息の支払額	△13,737
法人税等の支払額	△58,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,585,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,329,057
無形固定資産の取得による支出	△2,679
定期預金の預入による支出	△365,500
定期預金の払戻による収入	404,508
敷金及び保証金の差入による支出	△64,121
保険積立金の積立による支出	△1,851
その他	822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,357,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△745,797
配当金の支払額	△53,586
ストックオプションの行使による収入	1,452
割賦債務の返済による支出	△2,273
リース債務の返済による支出	△1,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△273,614
現金及び現金同等物の期首残高	4,470,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,197,215

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	58,919	—	58,919	—	58,919	—	58,919
東北	369,745	—	369,745	—	369,745	—	369,745
関東	1,688,496	144,863	1,833,360	77,735	1,911,096	—	1,911,096
甲信越	1,719,531	—	1,719,531	49,661	1,769,192	—	1,769,192
北陸	423,213	—	423,213	—	423,213	—	423,213
東海	1,132,224	—	1,132,224	—	1,132,224	—	1,132,224
近畿	292,619	—	292,619	—	292,619	—	292,619
その他(注4)	37,153	—	37,153	—	37,153	—	37,153
顧客との契約から生 じる収益	5,721,904	144,863	5,866,768	127,396	5,994,165	—	5,994,165
その他の収益	—	—	—	5,486	5,486	—	5,486
外部顧客への売上高	5,721,904	144,863	5,866,768	132,882	5,999,651	—	5,999,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	2,591	2,591	△2,591	—
計	5,721,904	144,863	5,866,768	135,474	6,002,243	△2,591	5,999,651
セグメント利益 又は損失(△)	646,153	90,058	736,211	△40,717	695,494	△311,031	384,462

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。